

現代版鳥山線鉄道唱歌《全篇》

- 1 昇る朝日に煙めいて／旅立ち煙し鳥山
アキユムが描く未来地図／踏み出す足も軽やかに
- 2 光と戯る那珂川の／ゆたかな流れ水清く
若船躍る水飛沫／八瀬の裾野やなの歓声
- 3 450の季節ね／名にし負うかな山あげの
見得切る絢爛舞い姿／常磐津の音も晴れやかに
- 4 常春公が祀られし／寿龜山神社の鳥居より
七曲り経て城跡は／古の榮え語り継ぐ
- 5 那須家縁の天性寺／お救い小屋で知られたる
朝顔賜る泉溪寺／銀舌の大樹 廠 かに
- 6 水面 彩る橋と橋／姿 かつちは遠えども
興野 山あげ 鳥山／夢懸け渡す虹のごと
- 7 遺産となりし境 橋／3連アーチも麗らかに
緑 滴る 落石の／紅葉の頃はさらに映え
- 8 南に臨む下境／千年の茂を引き継ぎし
華書 程村和紙の重／寶子に躍る夢模様
- 9 釜の上なる国見には／たわわに弾けるみかんあり
露地栽培の北限地／雲海の望と知られたり
- 10 電車はほどなく湯駅へ／霧音響く水煙
大釜小釜 龍 門は／太平寺にもほど近し

- 11 神長の小高い山裾に／木漏れ日ゆれる洞ありて
戦車工 塙あとかたは／平和の 尊さ語り継ぐ
- 12 裾穂のうねり大波の／茨野の大地進みゆく
にわかに騒りしトンネルは／レールも軋む急勾配
- 13 小橋を過ぎて荒川の／流れに渡す鉄の橋
那須光隆 築 城と／伝えし城も思はれる
- 14 眺め涼しき荒川の／豊かな恵み物語る
大和ス小河原十二口／往古の生活夢のまに
- 15 大地の鼓動悠々／土地に刻みしジオパーク
太古のロマン物語る／大金クジ化石あり
- 16 田野倉の里安楽寺／名ある古刹と知られけり
山門 薬師 眺めつつ／やがて向かうは鴻野山
- 17 陽炎ゆれる草の群れ／八幡太郎義家の
謂れもゆかし官衙址／長者ヶ 平 雲高し
- 18 町の根幹支えたる／榴櫓の大波黄金色
夕日に映えるあさひ橋／飛翔つひばり空高く
- 19 台新田の柚子香る／緑の森の高台の
元氣 誘う時空間／温泉 癒し 憩う村
- 20 仁井田を出でて花岡へ／水面に映える緑田
たんたん田んぼの高根沢／野州米にて名も高し

- 21 病苦患い和らげし／手津家秘伝の至宝薬
天下の名声轟くは／鉄路延伸故もあり
- 22 樹齢重ねて300年／大地に恩づく“いとひば”と
地蔵菩薩の笑み優し／小春日揺れる 浄 蓮寺
- 23 揺れる曲 線反り屋根の／荘 厳なるかな御社は
大きな神鏡 餅／安住神社閑静なり
- 24 首都圏整備の一翼を／担いし高き技術力
ホンダ ハイテク エコロジー／久遠の栄え支えゆく
- 25 皇室縁の牧羊場／拓きし大地 緑 なる
賓客訪う丘の上／御料牧 場 薔 け な り
- 26 煙めく陽光揺れる小波／グリーンパーク河川敷
アスレチックで汗流し／コスモス畑で癒されて
- 27 日光連山雪化粧／ホニョーレーン鉄橋は
流れ激しき鬼怒川に／煉瓦 橋 脚 麗 しく
- 28 東北本線交わるは／宝積寺駅起終点
生まれ変わりし石蔵に／マルシェ 音楽 集 い

